

タイ国営石油・ガス公社との LNG バンカリング共同事業化調査の開始について

丸紅株式会社（以下「丸紅」）は、タイ国営石油・ガス公社（PTT Public Company Limited、以下「PTT」）との間で、タイ最大の商業港であるレムチャバン港周辺の船舶を対象にした、LNG 燃料補給（以下「LNG バンカリング」）の共同事業化調査を開始しました。

船舶の排出ガス規制が 2020 年から国際的に強化されることに伴い、環境性能に優れた LNG を燃料とする船舶（LNG 燃料船）の増加も見込まれています。年間 8,000 隻以上の船が寄出港し、第三次拡張計画も進められているタイ随一のレムチャバン港においても、輸送量の拡大と環境規制の強化を踏まえ、周辺域での LNG バンカリングの需要は増えていくと見込まれています。

今回は、PTT が運営するマプタブット LNG 受入ターミナル（ラヨン県、バンコクの南東約 200km 地点）にある既存の再積替設備と、これに適合する燃料供給船を使用した LNG バンカリングの事業性を調査します。マプタブットやレムチャバンを含む地域は、タイ東部経済回廊（Eastern Economic Corridor[※]、以下「EEC」）と呼ばれ、タイ国内において戦略的にインフラ開発が進められている経済特区です。日本政府もタイの産業高度化に向けて、同地域でのインフラ開発への協力・支援を表明しています。

※ EEC： バンコク東部に位置するチョンブリ県、ラヨン県、チャチュンサオ県の三県を対象として投資優遇を行う経済特区。

丸紅は、タイ国内での LNG への燃料転換の普及に積極的に取り組み、域内における環境負荷の低減および EEC 地域のインフラ開発に貢献していきます。

以上

<PTT 概要>

企業名	PTT Public Company Limited
設立	2001年10月
所在地	555 Vibhavadi Rangsit Road, Chatuchak Sub-District, Chatuchak District, Bangkok, 10900 Thailand
事業内容	ガス・石油関連事業及び石油化学事業

<想定サービス概要図>

